令和7年 第3回定例教育委員会

令和7年3月17日(月)
午前9時00分
宮代町教育支援センター
2階会議室

- 1 開会の宣言 教育長

- 2 挨拶

- 3 概要報告

- 4 事務局報告
 - (1) 教育総務関係
 - ア 令和7年3月宮代町議会定例会関係 ・・・P 1
 - ① 一般質問の概要について
 - イ 令和7年度宮代町教育委員会行事予定について ・・・P 4
 - ウ 校長会からの要望事項に対する取組状況について ・・・P 5
 - (2) 学校教育関係
 - ア 宮代町立小中学校職員の人事評価について ・・・P19
 - イ 4月の行事予定について ・・・P20
 - ウ 4月の事業予定について ・・・P21
 - エ 令和6年度中学校卒業生の進路状況について 別紙
 - (3) 生涯学習関係
 - 4月の行事予定について ・・・P22

- 5 審議事項
 - 議案第2号 宮代町立図書館協議会委員の委嘱について ・・・P23
 - 議案第3号 宮代町スポーツ推進委員の委嘱について ・・・P25
 - 議案第4号 令和7年度宮代町教育委員会表彰の承認について ・・・P27
 - 議案第5号 宮代町立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について P31

- 6 その他

- 7 次回教育委員会について

- 8 閉会宣言 教育長

4 事務局報告

(1) 教育総務関係

ア 令和7年3月宮代町議会定例会関係

① 一般質問の概要について

通告2号 土渕 保美 議員

3. 各グラウンドの雑草等撤去作業とサマータイム導入について

事例では、昨年度に笠原落しの浚渫作業が県の事業費を活用し、見違えるほど綺麗になりましたが、半年後には雑草等の勢いは衰えず「何で」と言わしめるまでに成長し、近年の異常気象の一環を垣間見ることとなっています。この事は町が管理する各地区にあるソフトボール場やグラウンド等にも当てはまり、生涯スポーツで汗を流し、楽しむ利用者にとって伸びた雑草は大変迷惑なものとなっています。そこで伺います。

- ①年2回となっている除草作業を増やす考えは。
- ③利用者の中にボランティアで草刈りをやりたいと申し出ているが、町の考えは。
- ④近年の暑さ対策の一環として、夕方にグラウンド利用時間延長のサマータイムを導入する考えは。

通告3号 鈴木 次男 議員

1. 魅力ある宮代町の移住・定住促進について

- ④小中学校に関係する制度や取組みは。
- ⑤高校、大学、専門学校に関係する制度は。

通告5号 塚村 香織 議員

1. いじめ・不登校対策事業について

いじめや不登校など、学校生活の課題に関する相談体制は、スクールカウンセラーや教育支援センター、さわやか相談室において、相談支援員、教育支援員、臨床心理士などを配置し、増加する相談件数に応じて人員を拡充いただいている現状です。様々な問題は、学校現場での初期対応がその後の子どもたちの環境に大きな影響を与えます。そこで伺います。

- ①いじめや不登校などの相談内容について、学校内の共有及び関係機関との連携はどのような体制で行われているのか。
- ②進級時や中学校入学時に、相談内容の引継ぎは、行われているのか。
- ③新小学1年生は入学前からの相談は学校と共有されているのか。
- ④さわやか相談室について、各校利用人数に差があるが、受け入れ環境や相談員の対応に違いがあるのか。また情報交換や研修などはされているのか。

- ⑤保健室登校への見解及び当町の養護教諭の役割はどのようになっているのか。
- ⑥当町では、いじめ重大事態が4件発生している。調査報告書の提言を受け、再発防止に努めていると思うが、今後の対策への見解は。

通告7号 合川 泰治 議員

4. いじめのない学校を目指して

宮代町ではこれまで、条例の制定や基本方針の改定を行うなどいじめの再発防止に努めてきたところではありますが、現状では4件の重大事案が発生しています。

そこで、以下の点について伺います。

- ①初期対応の難しさはどのようなどころにあるか。
- ②現場の観点から、いじめ防止対策に関する問題点は。
- ③いじめ防止対策として町ができることは。

通告9号 泉 伸一郎 議員

1. G I G Aスクール端末の更新について

G I G Aスクール構想の下で整備された端末の更新について、令和6年8月現在で端末の総数は全国で950万台といわれている。「G I G Aスクール構想実現に向けたICT環境整備調査」によると、端末更新の68%は令和7年度に集中している。このため、来年度予算での更新端末の適切な調達が課題となる一方で、端末の適正な処理にも同時に取り組んでいく必要がある。そこで質問する。

- ①G I G Aスクール構想第2期では、政府の負担で都道府県に基金を創設し、原則として都道府県ごとの共通仕様書をもとに共同調達することになっているが、更新に向けた進捗は。
- ②これまで活用してきた端末の処理について、大量の端末処理をどのように進めていくかが大きな課題になっているが、町の取組は。

4. 体育館への空調設備設置の進捗について

小中学校の体育館やぐるる宮代のアリーナに、空調設備が設置されることになっている。現在のような物価高騰の影響や資材の調達が難しいとされている中、どのように進められているか心配である。避難所としての機能を充実させるためにも早急な設置が必要と考えるが、現在の進捗状況は。

通告11号 佐藤 将行 議員

2. 山崎アーチェリー場問題について

12月定例会から引き続き質問します。
山崎アーチェリー場につき、その後も様々な問題が次々と表出し続けています。そもそも、町はこの問題につきどのように考えているのでしょうか。

また、この問題は町の他の施設等とでも共通する問題点があると思いますが、町の考えを伺います。

通告12号 丸山 妙子 議員

2. 中学校を1校に統合する必要性について

令和9年度に公共施設の適正配置計画の方向性が示される。小学校3校、中学校1校に統廃合することは本当に適正なのか。

特に中学校1校に関しては、課題が多いと考えるがいかがか。

- (1) 中学校1校にする理由の一つが、部活動の数の問題である。部活動に期待を求める保護者や生徒も多く、これまでの教育的成果は認められるが、一方では、課外活動である部活動に、専門外の教師が指導にあたる負担増となっている。生徒や保護者にとっても、課外活動である部活動に参加することが、当然のような風潮があると感じる。学校教育の基本は、学習指導であり、部活動は課外活動であることを改めて確認し、地域や保護者等にも発信する必要がある。従って、部活動は統廃合の理由にはならないがいかがか。
- (2) 現在、小中学校の自由選択制がある。3校の中学校から選んでいる。各学校は、これまで特色ある学校作りに取り組んできている。地域のバックアップもあり、地域の学校として大きな成果を上げてきている。子どもたちが自身の特性を活かして中学校生活を送るために、学校を選択できることが大事である。1校のみとなり、全く選択できなくなることがあるがいかがか。
- (3) 残念なことではあるが、学校生活の中で様々な問題が発生することがある。例えば、いじめ問題や不登校等、環境を変えることでしか解決できないような場合もある。そんな時、選択できる余地が絶対に必要であると考えがいかがか。
- (4) 以前から課題として挙がっているのは、登下校の通学時の安全確保や通学方法、例えば道路整備、防犯灯の増設などは進んでいない。通学距離についても、計画から10年、温暖化による気温の上昇による熱中症や不審者増等に対する保護者の不安等、通学に不安材料が更に増し安全な登下校の確保は難しい状況であると考えがいかがか。

イ 令和7年度宮代町教育委員会行事予定について

月 日	行 事 等 名	備 考
4月 1日	新転任教職員着任式	進修館小ホール
4月 8日	中学校入学式	各中学校 (分担)
4月 9日	小学校入学式	各小学校 (分担)
4月23日	埼玉県市町村教育委員会連合会理事会	羽生市
4月25日	東部地区教育委員会理事会・総会	羽生市
5月20日	埼玉県市町村教育委員会連合会総会	狭山市
5月28日	体育祭(百間中)	百間中学校(分担)
5月30日	運動会(須賀中)	須賀中学校(分担)
5月30日	体育祭(前原中)	前原中学校(分担)
6月(未定)	町人権教育推進協議会総会	図書館
6月(未定)	町PTA連絡協議会定期総会	百間中学校
10月 4日	運動会(須賀小、百間小・東小・笠原小)	各小学校 (分担)
10月12日	町民スポーツフェスティバル2025	ぐるる宮代
11月(未定)	みやしろ芸術祭	進修館
11月(未定)	東部地区教委連合会、教育長協議会合同研修会	
12月 5日	人権作文発表会	東小学校
12月12日	キッズエコサミット	オンライン
1月11日	二十歳のつどい	東武動物公園
2月(未定)	人権問題合同研修会	進修館
3月13日	中学校卒業式	各中学校 (分担)
3月24日	小学校卒業式	各小学校 (分担)
未 定	研究発表会	前原中学校
未 定	研究発表会	百間小学校
未 定	島村盛助を顕彰する英語活動発表会 (中学校区ごと開催)	

※各行事開催時には、別途ご案内いたします。

ウ 校長会からの要望事項に対する取組状況について

(案)

令和7年 月 日

宮代町立小中学校長会 様

宮代町教育委員会
教育長 中村 敏明

校長会からの要望事項に対する取組状況について

令和6年11月19日付けで貴会から提出された令和7年度予算に係る要望事項に対する取組状況について別紙のとおり回答いたします。

要望項目 1 児童・生徒の確かな学力の育成と安心・安全を確保し、町内小中学校の一層の教育活動の充実・発展を図るための人的措置

要望事項(1)
<p>児童・生徒の基礎学力向上のため、小学校では30人、中学校では35人体制を堅持し、指導法改善（少人数指導）町非常勤講師の配置を引き続きお願いします。</p> <p>なお、各校2名の町非常勤講師の配置と、1名の勤務が週2日や週3日の勤務により、週5日間を2名で勤務可能にできるよう、引き続き、柔軟な対応をお願いします。</p>
回答(学校教育)
<p>町非常勤講師の配置については、平成26年度より「全ての小中学校に2名の非常勤講師を配置」しています。</p> <p>また、後者については学校の実態に応じ協議しながら柔軟に対応していきます。今後もより一層の基礎学力の向上を目指した指導に取り組んでいただくようお願いします。</p>
要望事項(2)
<p>特別に指導・支援を要する児童生徒への非常勤サポーター等の配置を学校の実態に応じてお願いします。（生徒指導・不登校・障がい児・特別な配慮を要する児童生徒等）</p>
回答(学校教育)
<p>学校の実態に対応した特別支援教育サポーターを小学校に、不登校対策学習支援員を中学校に配置しています。今後も同様の対応を継続したいと考えています。</p>
要望事項(3)
<p>県費加配教員の措置が継続されない場合、小1問題対応、町費等による代替講師等の措置をお願いします。</p> <p>（※年度途中の産休代替・育休代替の配置が難しい場合、教務・主幹教諭が対応することが多いので、町費常勤講師あるいはサポーター（免許をもたない）等の人員配置をお願いします。また、早めの代替教員の配置をお願いします。）</p>
回答(学校教育)
<p>平成28年度当初から、全小中学校に少人数加配が1名ずつ配置されており、令和6年度も教科指導充実加配及び小学校教科担任制推進加配を配置予定です。ただし、県からは教科指導充実加配数は減少させていくと言われていています。他の加配や特配についても、各学校の実態や状況に応じて、埼玉県への申請については、対応していきたいと考えています。</p> <p>産休代替・育休代替の配置についても、県の登録の状況、他市町との情報を共有しながら速やかに配置できるように努めていきます。このような状況が考えられる場合、早め</p>

の情報提供をお願いします。

要望事項(4)

県費負担教職員と勤務時間の差異は学校運営に支障があるため、町費非常勤講師の勤務範囲を拡大する措置をお願いします。(交通費支給、出張を可能にする等)

回答(学校教育)

町非常勤講師等の雇用については、応募状況や予算等、総合的に考えながら勤務時間を検討してきました。令和7年度は令和6年度からの変更はありません。また、令和6年度から徒歩で行ける範囲内での出張を可能としています。

要望事項(5)

町費非常勤職員の増員をお願いします。(小、中でそれぞれ1名の増員を)

回答(学校教育)

町非常勤講師の職務については、本務者同等の指導力が求められる状況もあるため、令和2年度からの待遇の見直しを優先して進めており、増員の予定はありません。

要望事項(6)

教職員の負担軽減と児童生徒に向き合う時間の確保に向け、スクールサポートスタッフの配置を引き続き継続してお願いします。

回答(学校教育)

スクールサポートスタッフの配置については、令和7年度も配置予定で進めています。

要望事項(7)

小学校への教育相談員の配置を引き続きお願いします。(勤務日を決めて2校兼務でも可)

回答(学校教育)

令和4年度より、教育相談員を教育支援センター内に配置し、週3日の勤務を行っています。令和7年度も引き続き配置します。中学校におけるさわやか相談員等も含め、その有効的な活用を図っていきたいと考えています。

要望事項(8)

小学校外国語活動・英語科の充実へ向け、小学校へALTが専属となるよう引き続きお願いします。

回答(学校教育)

平成28年度より小学校専属ALTを配置しました。平成30年度からは1名増員し、小学校2校につき1名配置しております。令和7年度も引き続き配置します。

要望事項(9)

町内に通級指導教室の設置に向けた計画的な対応をお願いします。

(※特に、通常学級に在籍する自閉症や情緒障害、アスペルガー症候群等、専門のスタッフが対応し、指導できる教室を要望します。各担任も相談できる機関であればありがたいです。)

対応の通級指導教室があれば、継続して通級指導教室に通いながら学習や保護者への面談が実施できると考えます。

設置が叶わない期間は、臨床心理士の定期訪問や相談など、専門的見地から児童生徒を見ていただける方の配置を要望します。

回答(学校教育)

令和2年度及び令和5年度に通級指導教室「発達障害・情緒障害」への通級に関するアンケートを各学校に実施したところ、「担任等は必要を感じる児童生徒」は一定数いるが、「保護者とも就学相談が進んでいて通う可能性が高い児童生徒」については、定数に満たなかったため、設置については見送っていました。しかし、令和8年度より通級指導教室が定数化される見込みであるため、今後、再度アンケートを実施するなど各学校の状況を確認し、保護者との合意形成を図った上で通級を必要とする児童生徒がいる場合は、設置に向けて準備を進めてまいります。

要望項目2 教育環境の整備・充実

要望事項(1)

防火シャッター・遊具施設・プール施設等の安全確保のため、専門業者による定期点検、不備の場合の早急な修繕等をお願いします。

回答(教育総務)

防火シャッターについては、年2回の消防設備点検時に点検しています。プールについては、使用開始時の清掃作業時等における確認をお願いします。

また、いずれの施設においても、不備等が発見された場合には、早急に修繕するなど適切に対応いたしますので、日頃からの確認点検と早急な連絡をお願いいたします。

要望事項(2)

老朽化した校舎・設備等の計画的な改修及び急を要する改善・改修を引き続きお願いします。雨漏り等が懸念される体育館及び校舎の屋上の業者による点検、改善を計画的に行うことをお願いします。特に体育館フロアについては、児童生徒の安全のため、最優先でご対応いただくようお願いいたします。さらに校舎近くの大木が倒れる懸念があります。高く伸びた大木の枝切り、樹木医等による確認など、計画的にお願いします。

回答(教育総務)

学校施設の改修等については、各校からの要望を元に現地確認を行い、危険性や緊急性などから計画的に改修工事を実施しています。また、年度途中において当初想定できなかった破損等が生じた場合には、予備費を充当するなどにより随時、対応しています。雨漏り等、緊急の対応が生じた場合は、適宜、御連絡をいただき、現地確認を行ったうえで、対応してまいります。

樹木医の確認については、専門業者に確認していただき、必要があるようであれば、対応させていただきます。

要望事項(3)

転用可能教室の改修による多目的スペースの設置について再編統合を視野に検討をお願いします。

回答(教育総務)

町では総合計画に基づいて小中学校の適正配置を進めることとしておりますので、併せて検討していきたいと考えています。

要望事項(4)

安心安全の確保のため、校内インターホン等放送設備の充実・設置を是非お願いします。

回答(教育総務)

かつて、児童生徒数の急増に合わせて校舎の増築を重ねたため、各校校舎の構造が複雑、管理に苦慮されていることは理解していますが、他の施設管理経費との兼ね合いから今後の検討課題とさせていただきます。

要望事項(5)

トイレ清掃・尿石除去など業者委託を、計画的・継続的に年に1・2回確実にを行うことをお願いします。また、トイレの洋式化・乾式化に向け、予算化及び工事を今後も計画的に進めて欲しい。(トイレ毎に1カ所は欲しい。もしくは、各階1カ所のトイレ洋式化工事、障害のある児童への配慮、骨折等による児童への配慮、新入児童への配慮等)

回答(教育総務)

学校トイレについては、学校環境改善上の喫緊の課題であると認識しています。令和7年度については、小学校(須賀小除く)の一部改修を予定しております。なお、今後についても継続して実施できるように引き続き予算要求をしていきたいと思っております。

要望事項(6)

小中学校多目的教室、相談室、会議室等未設置教室等への計画的なエアコン設置をお願いします。少人数指導で使う教室、音楽のパート別練習で使う教室等、実質的に活用している教室は、特に優先的にお願いします。また、給食配膳室も設置を要望します。給食配膳室について、一部の学校では、スポットクーラーで対応している状況です。また、設置してあるエアコンの内部清掃を計画的に実施していただき、生徒・教職員の健康面への配慮をお願いします。

回答(教育総務)

近年の異常気象を考えれば、すべての教室にエアコンを設置することが望ましいことは理解できますが、子供たちが通常授業で使用する普通教室及び特別教室には設置済みであり、以前に比べ、環境面では大きく向上していることから、多目的教室等への設置についての優先順位は低いと考えていますので、御理解いただきたいと思います。また、エアコン内部清掃については、令和7年度から保守契約を結ぶ予定ですので清掃を実施いたします。

給食配膳室については、空調設置費用を引き続き予算要求をしていきたいと思っております。

要望事項(7)

学習指導要領の内容変更に伴い、使用しなくなった薬品があります。それを廃棄するための予算措置をお願いします。

回答(学校教育)

令和5年予算の執行残で対応いたしました。

要望事項(8)

現在、校長の判断で、不登校・コロナ関係でタブレットの持ち帰りを認めていることと思いますが、もし、家庭でタブレットを破損してしまった時の、修繕予算をある程度確保していただけると助かります。保険、破損時の代替機器等の整備をお願いします。

回答(教育総務)

令和8年度からの新端末については1年間の保証期間で対応、2年目以降は予備機で対応したいと考えております。

また、全児童生徒の15%分の予備機を予算要求しているところです。(342台)

現在も、故意の破損等につきましては家庭の負担とする場合もある旨、手引きに記載しておりますので、引き続き学校現場では児童生徒に適切に端末を使用するよう、御指導をお願いします。

要望事項(9)

酷暑のため、冷房の効き方に課題があります。(教室の室温が30度を下回らない)熱中症等による体調不良増加の懸念がありますので、空調機器の増設や、断熱工事等の対策をお願いします。また更なる空調設備設置に向けて、各学校から設置場所の要望を尋ね、年度ごとに各校に1台ずつあるいは2台ずつと、計画的な設置が見通せると施設管理が行いやすいです。夏季における子どもたちの豊かな学びの場所の確保となります。切にお願いします。

回答(教育総務)

普通教室のエアコンについては、各校からの要望を元に現地確認を行い、業者に連絡し随時不具合の解消に努めているところです。断熱工事等については、各施設老朽化していることから、施設全体の長寿命化と一緒に検討を進めたいと思います。

要望事項(10) ※新規

夏季の高温化に伴い、敷地内の雑草が繁茂し、その対応、処理に苦慮しています。各学校に乗用の草刈り機を購入いただきたく要望いたします。あるいは、町で何台かご用意いただき、学校が借りられるようにしていただけたらと思います。

回答(教育総務)

乗用の草刈り機については、取扱いにおける危険性や維持管理を考慮すると購入はせずに委託回数を増やせるような対応をさせていただきます。

要望事項(11) ※新規

夏季が高温化していることに伴い、各学校に1台でかまいませんので製氷機を購入、準備いただくと、子どもたちの健康管理、安全管理に役立ちます。

回答(教育総務・学校教育)

財政状況から、各校の管理備品の配当予算で対応していただきますようお願いいたします。

要望項目3 教育の充実と特色ある学校づくりのため財政支援**要望事項(1)**

埼葛連合教育研究会負担金及び埼玉県連合教育研究会負担金並びに町教育研究会への補助金を引き続きお願いいたします。
宮代町教育研究会の特別事業会計については、宮代町からの補助金200,000円の継続をお願いいたします。(理由：町内硬筆審査会、書き初め審査会等の継続実施のため。)

回答(学校教育)

ご要望のとおり予算措置を講じています。

要望事項(2)

各種教育団体組織への負担金・分担金の措置の拡大を引き続きお願いいたします。校長会における関東甲信地区、全日本校長会負担金については各校長が個人負担しています。多くの他市町は公費で負担しています。町による予算措置をお願いいたします。

回答(学校教育)

ご要望のとおり負担金等の予算は確保しています。また、全日本校長会負担金については、今後の財政状況等を勘案して、検討してまいります。
なお、教育関係の協議会等への負担金が多いことから、必要性やメリットについて議会等から指摘される場合が有ります。町長部局では、協議会から脱退や、負担金を減額・廃止するなど、改革に取り組んでおりますので、できれば組織の必要性や負担金のあり方等について、組織自ら議論していただくなど、一石を投じていただければ幸いです。

要望事項(3)

研究委嘱校には、予算措置の増額を引き続きお願いいたします。委嘱料の費目を需用費(印刷製本費)に限るのは電子化によりペーパーレス化が進む中、SDGSの観点からも前近代的です。有効活用できる費目例えば「謝金」「旅費」等に使用できるよう検討をお願いいたします。

回答(学校教育)

平成26年度より町研究委嘱費につきましては、発表校に7万円、その他の学校に5万円としました。研究委嘱費につきましては需用費に限定せず、各学校の実情に合わせ研究に必要な「謝金」等にも使用できることとしました。

要望事項(4)

教材や指導書等の予算措置を引き続きお願いします。

回答(学校教育)

ご要望のとおり予算措置を講じています。

要望事項(5)

給食費の納入方法については、給食費の適正化及び学校事務の効率化を図るため、町に直接納入する方法をお願いします。また、給食費を未納しがちな家庭に対する行政からの働きかけをお願いします。

回答(教育総務)

給食費の納入については、各家庭の状況と合わせて的確に判断いただける各小中学校にお願いし、一定の成果を得ているところでありますので、引き続き御協力をお願いします。

なお、長期間にわたり納入が滞っている家庭については、町教育委員会としても働きかけしてまいります。

要望事項(6)

学級閉鎖時、給食の停止並びに食材の購入停止が間に合った場合、給食費の返金検討をお願いします。

回答(教育総務)

学校給食食材は、給食費の年間見込みを勘案して選定、発注しています。また、事務の煩雑化を防ぐためにも給食費の返金は今後も所定の基準に基づき実施していきます。

要望事項(7)

多額の予算が必要な修繕費の町予算対応について引き続きお願いします。

回答(教育総務)

修繕費については、軽微なものは学校予算で対応をお願いします、多額の費用を要する修繕は町予算で対応しています。財政状況が益々厳しくなっているため十分な予算とは言えないかも知れませんが、緊急修繕等は予備費等を活用し対応したいと考えています。学校におきましても予算を有効に使っていただけるよう工夫できることがあればお願いします。

要望事項(8)

図書室の児童生徒用図書の予算の増額をお願いします。

回答(学校教育)

児童生徒用図書につきましては、小学校は児童一人当たり1,100円、中学校は生徒一人当たり1,300円を予算として計上しています。財政状況が厳しくなっているため十分な予算とはいえないかと思いますが、ご理解のほどよろしく願いいたします。なお、平成28年度からは「新図書館システム」の整備により学校図書室のパソコンがオンライン管理となるなど、町立図書館との連携が拡大されますので、効果的な運用をお願いします。

要望事項(9)

リモート学習への対応として、小学校1学年の情報端末について、家庭での接続が可能になるよう、対応を至急お願いします。また、現在、小学校1学年のみWindows OSの機種を使用しておりますが、学習効率やリモート学習の観点から小学校2学年以上の端末と同様のChrome OS搭載の、機種への変更を要望します。

回答(教育総務)

令和元年度に導入したパソコン教室のタブレットPCを有効活用するため、小学校1年生の情報端末については、Windows OSの機種を使用いただいています。他の学年の機種と異なるため、御不便をお掛けしている点もあると思いますが、小学校1年生が使用することやタブレットPCを有効活用することを勘案し、御理解いただきたいと思えます。小学校1年生につきましては、町予算の都合上、令和7年度末まで現在のWindows OSを使用いただきます。令和8年度当初から新端末を全児童生徒、教職員が使用できるように予算要求をしています。

要望事項(10)

リモート学習対応のための人的配置、及び機器の整備をお願いします。(できれば専門のスタッフが授業をアシスタントできることが望ましいが、スクールサポートスタッフや不登校対策学習支援員の業務として示すなどの対応も含めて)

回答(教育総務・学校教育)

リモート学習に対応した機器の整備につきましては、他の予算状況を鑑みながら、導入の検討をしたいと考えております。また、端末を複数使用したハイフレックス授業等についても検討していきます。

要望事項(11)

アカウント整備等切り替え時期におけるスムーズな業務のために、特に年度末～年度当初における ICT 支援員の配置をお願いします。

回答(教育総務・学校教育)

ICT 支援員の配置につきましては、他の予算状況を鑑みながら引き続き検討を進めていきたいと考えております。

要望事項(12) ※新規

発達障害に伴った不登校も多いと存じます。月に 1 回～2 回各校を回れる町専属の臨床心理士がいると有り難いです。医学的な見地から具体的な助言が頂けます。あわせて、ウイスクの検査をその人ができるともっと有り難いです。

回答(学校教育)

令和 7 年度は、近年の子供たちの様々な課題に対応するため、臨床心理士の配置について検討中です。

要望項目4 その他の要望

要望事項(1)

人事異動については、校長の意向を今後も尊重していただき、バランスの取れた職員組織となるよう配慮をお願いします。

回答(学校教育)

今後も校長との話し合いを重視していきます。

要望事項(2)

県や町から児童生徒へ依頼されるポスター、作文、標語等で必ず協力しなければならないものについて、年間一覧表の作成を引き続きお願いします。

(※教育委員会を経由しない依頼も多数あり、負担感が増加しています。)

回答(学校教育)

必ず協力していただかなければならないものについては夏季休業前の校長会で示させていただきます。教育委員会を経由しないものについては、示すことができません。

要望事項(3)

県大会以上の児童生徒の出場については、県大会の参加費・輸送費予算の配慮をお願いします。関東大会や全国大会の参加費・輸送費予算があると有り難いです。

(※現状では、個人又はPTA負担となっています。学校代表として出場する場合、負担に課題があります。)

回答(学校教育)

平成23年度までは、バスの予算を確保しておりましたが、平成24年度予算「3%」、平成25年度予算「1%」、平成26年度予算ではさらに「2%」のマイナスシーリングが行われ、令和6年度に向けては「3%」マイナスシーリングと全庁的に予算が減額されたことから、令和6年度もバスの予算を確保することが出来ません。ご理解いただきたいと思えます。

要望事項(4)

人材の派遣について、小学校の学級懇談会等で就学前幼児の安全を確保するため、是非年間3回ほどの派遣をお願いします。

(※懇談会時、一定の場所を指定しているが、監督している者がいない状況もあり、危険であるため)

回答(学校教育)

必要性については理解しておりますが、現状では各校の工夫をお願いします。

要望事項(5)

学校の標示の作成について検討をお願いします。

回答(教育総務)

宮代町の道路事情と各校の立地を考慮すると、来校者への案内標示の必要性は理解されると思いますが、昨今自動車や携帯電話等のGPS機能の普及と考え合わせると喫緊の課題ではないと解されますので、ご理解いただきますようお願いします。

要望事項(6)

各学校にもう1台AEDの設置をお願いします。

(※緊急対応・校外で使用するため。例：林間学校、持久走大会、水泳指導等)

回答(学校教育)

現状では各校の工夫をお願いします。必要性については理解していますので、今後検討していきたいと思えます。

要望事項(7)

夏季休業中の研修(特別支援教育研修会、宮代町教育研究会全体研修会(共催のもの)、宮代町教職員人権教育研修会)については、早めの日程調整と開催方法の工夫をお願いします。

回答(学校教育)

町教職員全体研修会については、講師の方のご都合が最優先される状況にありますが、研修会の組み合わせや研修時間の短縮等については、引き続き検討していきたいと思えます。

要望事項(8)

災害時の対応について、学校を避難所として開設する場合の鍵の管理等に関する行政側との共通理解の場を設けるようお願いします。

回答(教育総務)

町民生活課において、震度6弱以上の地震が発生した場合に、避難所周辺に住む職員を避難所開設担当として指定しました。併せて、避難所である体育館の鍵を、各小中学校の所定の場所に常備しましたので、緊急時には町職員により避難所を開設することが可能になっています。

要望事項(9)

中学校の卒業式で町が表彰する9か年皆勤賞について、皆勤賞のために体調不良であっても生徒が無理するケースも散見されます。健康上の問題もありますので、廃止を含め

検討をお願いします。

回答(学校教育)

皆勤賞について、生徒の9か年の努力を認めることは、大変意義のあることと考えています。しかし、表彰の場については、各学校の実情に合わせ検討して行っていただいています。

要望事項(10)※昨年度はなかったが復活

働き方改革の課題と解決に向けた町教育委員会としての考え方と方向性を示し、具体策を検討する協議会の設置または、ゴールがわかるロードマップを示すことについての検討をお願いします。また、18:00以降対応するための、留守番電話についても検討をお願いします。

回答(教育総務・学校教育)

国や県、近隣市町の動向や学校の状況など情報収集をし、今後の取組について検討をしていきたいと考えております。

要望事項(11)

部活動の土日の地域移行への対応についての町教育委員会としての考えを示していただき、検討に向けた環境整備をお願いします。

回答(学校教育)

国や県、近隣市町の動向や学校の状況など情報収集をし、今後の取組について検討をしていきたいと考えております。

要望事項(12)

学校選択について、一部の学校では、教室の不足等、多くの教育活動に支障が出ています。学校選択についての基準の見直し等、検討をお願いします。

回答(学校教育)

児童生徒数の今後の推移や教室数等を確認し、検討しております。

要望事項(13) ※新規 給食費の集金については前にもあり。

働き方改革の観点、及び金銭に関わる事故の未然防止、保護者の利便のため、各学校における給食費や学級費等の諸費用の集金方法について町統一で業者委託とし、その手数料について町予算における負担をお願いします。

回答(教育総務・学校教育)

給食費、学級費の納入については、業者委託による集金は考えておりません。

(2) 学校教育関係

ア 宮代町立小中学校職員の人事評価について

令和6年度埼玉縣市町村立学校職員の人事評価について、埼玉縣市町村立学校職員の人事評価に関する規則第9条第1項に基づき報告します。

イ 4月の行事予定について

須賀小：須 百間小：百 東小：東 笠原小：笠 / 須賀中：須 百間中：百 前原中：前
 小学校4校：小 中学校3校：中

日付	小学校	中学校
1日(火)		
2日(水)	職員会議(須・百・東・笠)	職員会議(須・百・前)
3日(木)	準備登校(須・百・笠) 職員会議(笠)	職員会議(須・百・前)
4日(金)	準備登校(東) 新1年生クラス発表(東)	
5日(土)		
6日(日)		
7日(月)		準備登校(須・百・前)
8日(火)	始業式(小) 一斉下校(通学路点検)(笠)	始業式(中) 入学式(中)
9日(水)	入学式(小)	新入生歓迎会(百) 全校説明会(百) 避難訓練(百・前)
10日(木)	給食開始(小) 通学班編成(須・東・笠) 一斉下校(通学路点検)(百・東) 1年生を迎える会(東)	給食開始(中) 新入生歓迎会(須・前) 部活動見学・仮入部期間(～24日) (須) 部活動見学・仮入部期間(～25日) (百)
11日(金)	通学班編成(百) 1年生を迎える会(笠)	学級懇談会(百)
12日(土)		
13日(日)		
14日(月)	一斉下校(通学路点検)(須)	部活動見学・仮入部期間(～24日) (前)
15日(火)	1年生を迎える会(百)	交通安全教室(前)
16日(水)	開校記念日(須) 1年生を迎える会(須)	開校記念日(須)
17日(木)	全国学力・学習状況調査(6年)(小)	全国学力・学習状況調査(3年)(中) 学級懇談会(前) 修学旅行保護者説明会(前)

18日(金)	開校記念日(東) 町研主任会	学級懇談会(須) 町研主任会
19日(土)	家族読書の日(東)	
20日(日)		
21日(月)	給食開始(1年) ふれあいデー(須・百・東・笠) 全国学力・学習状況調査 質問紙調査 (6年) 薬物乱用防止教室(6年)(東)	ふれあいデー(須・百)
22日(火)	交通安全教室(1・2・3年)(東) 百間中陸上指導(東)	東小学校へ陸上指導(百)
23日(水)	町研総会(オンライン)	ふれあいデー(前) 町研総会(オンライン)
24日(木)	授業参観懇談会(4・5・6年・特)(百)	
25日(金)	離任式(須) 授業参観・懇談会(1・2・3年)(百) 授業参観・懇談会(東・笠) 交通安全教室(1・2・3年)(笠)	部活動ミーティング(本入部)(須・百・前)
26日(土)	学習参観・懇談会(須) 引き渡し訓練(須)	土曜授業・部活動保護者会(須・百・前) 携帯教室(前)
27日(日)		
28日(月)	振替休業日(須) 心肺蘇生法研修(東)	振替休業日(須・百・前)
29日(火)	昭和の日	昭和の日
30日(水)	百間中陸上指導(笠)	笠原小学校へ陸上指導(百)

ウ 4月の事業予定について(教育委員会)

日付	内 容	場 所
1日(火)	臨時校長会・転任新採用職員着任式	進修館 (集会室・小ホール)
3日(木)	予算説明会・校長会	進修館研修室
4日(金)	教頭会	役場 202 会議室
4日(金)	スクールガードリーダー連絡会	役場 202 会議室
22日(火)	社会科副読本編集委員会	役場 204 会議室
24日(木)	ICT 研修会	オンライン
24日(木)	宮代町人事評価研修会(校長) 予定	役場 202 会議室
30日(水)	宮代町人事評価研修会(教頭) 予定	役場 204 会議室

(3) 生涯学習関係

4月の事業予定について（教育委員会主催事業）

日 時	内 容	場 所
4月19日（土） 14:00～16:00	大人のスポーツフィールド ■仕事や家庭等で運動から縁が遠くなってしまった方々などを対象に、月に一度、汗を流す運動の場です。 ●内容：さいかつぼーる、ミニテニス ●対象：町内在住・在勤・在学の小学校4年生以上 20人 ●参加費：100円	ぐるる宮代 サブアリーナ

議案第2号

宮代町立図書館協議会委員の委嘱につき議決を求めることについて

別紙の者を宮代町立図書館協議会委員に委嘱することについて議決を求める。

令和7年3月17日提出

宮代町教育委員会
教育長 中村 敏明

提 案 理 由

別紙の者を宮代町立図書館協議会委員に委嘱したいので、宮代町立図書館協議会運営規則第2条第1項の規定により、この案を提出するものである。

なお、任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日とする。

宮代町立図書館協議会委員委嘱者名簿
(任期：令和7年4月1日から令和9年3月31日まで)

	氏名	性別	所属等	備考
1	やまうち かおる 山内 薫	男	学識経験者	再任
2	むらやま ふさえ 村山 ふさ江	女	学識経験者	再任
3	しらき まさかつ 白木 正勝	男	社会教育経験者	再任
4	くにかわ けいこ 国川 恵子	女	社会教育経験者	再任
5	みすみ ゆみこ 三角 由美子	女	社会教育経験者	新規
6	もぎ しるみ 茂木 代美	女	公募委員	新規
7	未定		学校教育関係者	人事異動による
8	未定		学校教育関係者	人事異動による
9				
10				

【参考】宮代町立図書館設置及び管理条例（抜粋）

（図書館協議会）

第17条 法第16条の規定に基づき、宮代町立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに公募による市民（宮代町市民参加条例（平成15年宮代町条例第29号）第2条第1号に掲げる者をいう。）の中から任命する。

5 役職上によって委嘱された者が、その職を離れたときは、委員は解任されるものとする。

議案第3号

宮代町スポーツ推進委員の委嘱につき議決を求めることについて

別紙の者を宮代町スポーツ推進委員に委嘱することについて議決を求める。

令和7年3月17日提出

宮代町教育委員会
教育長 中村 敏明

提 案 理 由

別紙の者を宮代町スポーツ推進委員に委嘱したいので、スポーツ基本法第32条第1項及び宮代町スポーツ推進委員に関する規則第3条第1項の規定により、この案を提出するものである。

なお、任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日とする。

別紙

宮代町スポーツ推進委員委嘱者名簿
(任期：令和7年4月1日から令和9年3月31日)

	氏名	備考	
1	浅倉孝郎	新規	町内在住
2	押田文子	再任	町内在住
3	折原規子	再任	町内在住
4	島田和夫	再任	町内在住
5	杉山康昌	再任	町内在住
6	泰楽恵子	再任	町内在住
7	中野靖之	新規	町内在住
8	増田利通	再任	町内在住

【参考】スポーツ基本法（抜粋）

（スポーツ推進委員）

第32条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあつては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

【参考】宮代町スポーツ推進委員に関する規則（抜粋）

（定数及び任期）

第3条 委員の定数は、14人とし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員を生じたときは、補欠委員を委嘱する。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 教育委員会は、前項の規定にかかわらず、特別の事由があるときは、前2項の期間中においても委員の委嘱を解くことができる。

議案第4号

令和7年度宮代町教育委員会表彰の承認について

別紙の候補者を令和7年度宮代町教育委員会表彰受賞者として承認することにつき議決を求める。

令和7年3月17日提出

宮代町教育委員会
教育長 中村 敏明

提 案 理 由

宮代町教育委員会表彰規程第2条及び宮代町教育委員会表彰規程取扱要領に基づき表彰候補者を決定するため、この案を提出するものである。

宮代町教育委員会表彰規程

平成元年4月1日
教委規程第 2号

(目的)

第1条 この規程は、宮代町の教育、学術、文化及び体育の振興発展に貢献し、他の模範となるものの表彰に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰の基準)

第2条 表彰は、次の各号のいずれかに該当する個人又は団体を選考し、表彰する。

- (1) 教育、学術、文化及び体育の振興発展に功績が顕著であるもの
- (2) 教育関係職員で、その業績が特に優秀であるもの
- (3) 教育、文化及び体育等関係団体の活動の推進等に貢献し、その功績が顕著であるもの
- (4) その他特に表彰に値すると認められるもの

(表彰の方法)

第3条 表彰は、教育委員、校長及び団体の長等の推薦により教育委員会で選考の上、これを行う。

2 表彰者には表彰状(又は感謝状)を授与する。なお、副賞又は記念品を加授することができる。

(表彰の時期)

第4条 表彰は、毎年1回必要に応じて行う。ただし、特に必要がある場合は、臨時に行うことができる。

(雑則)

第5条 この規程に定めるもののほか、表彰についての必要な事項は、別に教育委員会が定める。

附 則

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

宮代町教育委員会表彰規程取扱要領

第1 趣旨

この要領は、宮代町教育委員会表彰規程(平成元年教委規程第2号。以下「規程」という。)第5条に基づき必要な事項を定めるものとする。

第2 選考基準

規程第2条各号に定める個人又は団体は、次の基準を満たすものの中から選考するものとする。

- 1 教育委員で、2期(8年)以上在職し、その職を退任した者
- 2 町内小・中学校に勤務した校長・教頭で、5年以上在職し、町外に転出及び退職した者
- 3 町内小・中学校の学校医・学校歯科医・学校薬剤師で、5年以上在職し、その職を退任した者
- 4 社会教育委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
- 5 公民館長で、5年以上在職し、その職を退任した者
- 6 図書館協議会委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
- 7 文化財保護委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
- 8 スポーツ推進委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
- 9 奨学生選考委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
- 10 公民館運営審議会委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
- 11 その他の委員で6年以上在職し、その職を退任した者
- 12 町内小・中学校のPTA会長又は副会長として、小・中学校合わせて3年以上の在職年数を有する者で、その職を退任した者
- 13 その他特に必要と認められるもの

第3 表彰状等の様式

表彰状・感謝状の様式については、別紙様式のとおりとする。

第4 庶務

表彰に関する庶務は、教育推進課教育総務担当で行う。

平成13年5月15日	教育委員会承認
平成15年4月24日	教育委員会承認
平成30年2月22日	教育委員会承認
令和2年2月20日	教育委員会承認

令和7年度宮代町教育委員会表彰 候補者一覧

氏名	選考理由	種別	選考	備考
1 吉澤 久美子 よしざわ くみこ	8年間(H28.10.1～R6.9.30)、合議制の執行機関の委員である宮代町教育委員として活動し、本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	選考基準1 教育委員で、その職を退任した者
2 塚越 健一 つかごし けんいち	令和2年度からの2年間、宮代町教育委員会の学校管理幹兼副課長、令和4年度からの3年間、宮代町立百間小学校長として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	選考基準2 町内小・中学校に勤務した校長(学校管理幹兼副課長は教頭以上の職)で、町外に転出する者
3 六平 亘 むしか わたる	平成28年度からの3年間、宮代町立百間小学校教頭、平成31年度からの2年間、宮代町立須賀小学校教頭、令和3年度からの4年間、宮代町立東小学校教頭として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	選考基準2 町内小・中学校に勤務した教頭で、町外に転出する者
4 宮野 紀子 みやの のりこ	平成29年度から8年間、宮代町立図書館協議会委員として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	選考基準6 図書館協議会委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
5 中村 昭子 なかむら あきこ	令和元年度からの6年間、宮代町立図書館協議会委員として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	同上
6 千把 道雄 せんば みちお	平成11年度から26年間、スポーツ推進委員として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	選考基準8 スポーツ推進委員で、3期(6年)以上在職し、その職を退任した者
7 関 悦久 せき よしひさ	平成17年度から20年間、スポーツ推進委員として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	同上
8 土淵 早苗 つちぶち さなえ	令和2年度、百間中学校PTA副会長、令和3年度から4年間、同中学校PTA会長として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	選考基準12 町内小・中学校のPTA会長又は副会長として、小・中学校合わせて3年以上の在職年数を有する者で、その職を退任した者
9 石井 大晴 いしい もとはる	令和4年度から3年間、須賀中学校PTA会長として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	同上
10 勝又 純子 かつまた じゆんこ	平成29年度、須賀小学校PTA副会長、令和4年度から3年間、須賀中学校PTA副会長として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	同上
11 宮崎 紫 みやざき ゆかり	令和4年度から3年間、笠原小学校PTA副会長として本町の教育活動に貢献した。	感謝状	可・否	同上
12 遠藤 英雄 えんどう ひでお	平成27年からスクール・ガード・リーダーとして須賀小学校児童の登下校の見守り活動を行った。長きにわたり、子供たちの交通安全に大いに貢献した。	感謝状	可・否	選考基準13 その他特に必要と認められるもの
13 長谷川 邦弘 はせがわ くにひろ	平成30年度からスクール・ガード・リーダーとして、笠原小学校児童の登下校の見守り活動を行った。長きにわたり、子供たちの交通安全に大いに貢献した。	感謝状	可・否	同上
14 金子 輝男 かねこ てるお	令和4年度からスクール・ガード・リーダーとして、百間小学校児童の登下校の見守り活動を行った。長きにわたり、子供たちの交通安全に大いに貢献した。	感謝状	可・否	同上

議案第5号

宮代町立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について

別紙のとおり宮代町立小・中学校職員服務規程の一部を改正することについて議決を求める。

令和7年3月17日

宮代町教育委員会
教育長 中村 敏明

提 案 理 由

勤務管理システムにおいて、休暇等の電子申請に対応するため、所要の改正を行うものである。

宮代町教育委員会訓令第 号

宮代町立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令をつぎのとおり定める。

令和7年3月17日

宮代町教育委員会 教育長 中村 敏明

宮代町立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令

宮代町立小・中学校職員服務規程（平成23年宮代町教育委員会訓令第2号）の一部を次のように改正する。

第7条第2項中「置かなければならない」を「おこななければならぬ」に改める。

第8条第3項中「様式第1号の3による職務専念義務免除願」を「勤務管理システム」に改め、同項に次のただし書きを加える。

ただし、勤務管理システムにより難しい場合にあつては、様式第1号の3による職務専念義務免除願によるものとする。

第10条第1項中「様式第2号の2による休暇届簿」を「勤務管理システム」に改め、「産前産後の休暇については」の次に「勤務管理システム及び」を加え、「様式第2号の3による休暇届簿」を「勤務管理システム」に改め、同条第2項中「様式第2号の4による休暇願」を「勤務管理システム」に、「第21号」を「第22号」に改め、同条第3項中「病気休暇を受けようとするときは、」の次に「勤務管理システム及び」を加え、同条第7項中「第24号」を「第25号」に改め、同条第8項中「組合休暇を受けようとするときは、」の次に「勤務管理システム及び」を加え、同条第9項中「介護休暇を受けようとするときは、」の次に「勤務管理システム及び」を加え、同条第10項中「介護時間を受けようとするときは、」の次に「勤務管理システム及び」を加え、同条に次の2項を加える。

11 勤務管理システムにより難しい場合における願出又は届出については、それぞれ規定する様式（年次休暇の場合にあつては、校長は様式第2号の2、その他の職員にあつては様式第2号の3、特別休暇（産前産後休暇を除く。）の場合にあつては、様式第2号の4）をもって行うものとする。

12 「第1項及び第2項の規定により、勤務管理システムを用いて願出又は届出を行う場合は、それぞれの様式に記載されている事項を、すべて入力しなければならない

い。

第11条中「様式第4号による欠勤届」を「勤務管理システム」に改め、同条に次のただし書きを加える。

ただし、勤務管理システムにより難しい場合にあつては、様式第4号による欠勤届によるものとする。

第12条中「書類」を「勤務管理システム」に改める。

第14条中「休職を願い出ようとするときは、」の次に、「勤務管理システム及び」を加える。

附 則

この訓令は、制定の日から施行し、令和7年1月1日から適用する。

宮代町立小・中学校職員服務規程 新旧対照表

改 正 案	現 行
<p>(出勤)</p> <p>第7条 (略)</p> <p>2 職員の出張、研修、休暇、欠勤、遅刻又は早退等の場合は、校長又は校長のあらかじめ指定する職員が、その旨を勤務整理簿に記載して<u>おかなければならない</u>。</p> <p>3 (略)</p> <p>(職務専念)</p> <p>第8条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 職員は、宮代町立学校県費負担教職員の服務に専念する義務の特例に関する条例(昭和30年宮代町条例第12号)に基づき、職務に専念する義務の免除について承認を受けようとするときは、<u>勤務管理システム</u>をもって教育長に願い出なければならない。ただし、<u>勤務管理システムにより難しい場合</u>にあつては、<u>様式第1号の3による職務専念義務免除願</u>によるものとする。</p> <p>(休暇)</p> <p>第10条 職員が、学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平成7年埼玉県条例第28号。以下「条例」という。)第13条に規定する年次休暇又は学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則(平成7年埼玉県教育委員会規則第9号。以下「勤務時間等規則」という。)第12条第1項第1号本文に規定する休暇(以下「産前産後の休暇」という。)を受けようとするときは、校長にあつては年次休</p>	<p>(出勤)</p> <p>第7条 (略)</p> <p>2 職員の出張、研修、休暇、欠勤、遅刻又は早退等の場合は、校長又は校長のあらかじめ指定する職員が、その旨を勤務整理簿に記載して<u>置かなければならない</u>。</p> <p>3 (略)</p> <p>(職務専念)</p> <p>第8条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 職員は、宮代町立学校県費負担教職員の服務に専念する義務の特例に関する条例(昭和30年宮代町条例第12号)に基づき、職務に専念する義務の免除について承認を受けようとするときは、<u>様式第1号の3による職務専念義務免除願</u>をもって教育長に願い出なければならない。</p> <p>(休暇)</p> <p>第10条 職員が、学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平成7年埼玉県条例第28号。以下「条例」という。)第13条に規定する年次休暇又は学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則(平成7年埼玉県教育委員会規則第9号。以下「勤務時間等規則」という。)第12条第1項第1号本文に規定する休暇(以下「産前産後の休暇」という。)を受けようとするときは、校長にあつては年次休</p>

改 正 案	現 案 行
<p>暇については<u>勤務管理システム</u> _____をもって、産前産後の休暇については<u>勤務管理システム及び様式第2号</u>による休暇届をもって教育長に、その他の職員にあっては年次休暇については<u>勤務管理システム</u> _____、産前産後の休暇については<u>勤務管理システム及び様式第2号</u>による休暇届をもって校長に、それぞれ届け出なければならない。</p> <p>2 職員が、条例第15条に規定する特別休暇（産前産後の休暇を除く。）を受けようとするときは、<u>勤務管理システム</u> _____をもって、校長にあっては教育長に、その他の職員にあっては校長に、それぞれ願い出なければならない。ただし、勤務校内において全血献血をするため勤務時間等規則第12条第1項第<u>22号</u>に規定する休暇を受けようとするときは、口頭により願い出ることができる。</p> <p>3 職員が、条例及び勤務時間等規則の規定に基づき、病気休暇を受けようとするときは、<u>勤務管理システム及び様式第2号の7</u>による病気休暇簿をもって、校長にあっては教育長に、その他の職員にあっては校長に、それぞれ願い出なければならない。</p> <p>4～6 （略）</p> <p>7 職員が、勤務時間等規則第12条第1項第<u>25号</u>に規定する休暇を受けようとするときは、第2項による願い出の際、様式第2号の6によるボランティア活動計画書を添えなければならない。</p> <p>8 職員が、条例第16条に規定する組合</p>	<p>暇については<u>様式第2号の2</u>による<u>休暇届簿</u>をもって、産前産後の休暇については _____様式第2号による休暇届をもって教育長に、その他の職員にあっては年次休暇については<u>様式第2号の3</u>による<u>休暇届簿</u>、産前産後の休暇については _____様式第2号による休暇届をもって校長に、それぞれ届け出なければならない。</p> <p>2 職員が、条例第15条に規定する特別休暇（産前産後の休暇を除く。）を受けようとするときは、<u>様式第2号の4</u>による<u>休暇願</u>をもって、校長にあっては教育長に、その他の職員にあっては校長に、それぞれ願い出なければならない。ただし、勤務校内において全血献血をするため勤務時間等規則第12条第1項第<u>21号</u>に規定する休暇を受けようとするときは、口頭により願い出ることができる。</p> <p>3 職員が、条例及び勤務時間等規則の規定に基づき、病気休暇を受けようとするときは、 _____様式第2号の7による病気休暇簿をもって、校長にあっては教育長に、その他の職員にあっては校長に、それぞれ願い出なければならない。</p> <p>4～6 （略）</p> <p>7 職員が、勤務時間等規則第12条第1項第<u>24号</u>に規定する休暇を受けようとするときは、第2項による願い出の際、様式第2号の6によるボランティア活動計画書を添えなければならない。</p> <p>8 職員が、条例第16条に規定する組合</p>

改 正 案	現 案 行
<p>にあつては校長に、それぞれ届出なければならぬ。ただし、<u>勤務管理システム</u>により難い場合にあっては、<u>様式第4号</u>による欠勤届によるものとする。</p> <p>(願出、届出の特例)</p> <p>第12条 前2条に規定する願出又は届出が病気、災害その他やむを得ない事情のため、あらかじめ願出又は届出ができない場合には、とりあえず適宜の方法で連絡の上、事後速やかに<u>勤務管理システム</u>をもって願出又は届出をすることができる。</p> <p>(休職)</p> <p>第14条 職員は、次の各号のいずれかに該当する場合において、休職を願い出ようとするときは、<u>勤務管理システム及び様式第5号</u>による休職願を教育委員会に提出しなければならない。</p> <p>(1) 及び (2) (略)</p> <p>2 (略)</p>	<p>にあつては校長に、それぞれ届出なければならぬ。_____</p> <p>_____</p> <p>(願出、届出の特例)</p> <p>第12条 前2条に規定する願出又は届出が病気、災害その他やむを得ない事情のため、あらかじめ願出又は届出ができない場合には、とりあえず適宜の方法で連絡の上、事後速やかに<u>書類</u>をもって願出又は届出をすることができる。</p> <p>(休職)</p> <p>第14条 職員は、次の各号のいずれかに該当する場合において、休職を願い出ようとするときは、_____</p> <p>様式第5号による休職願を教育委員会に提出しなければならない。</p> <p>(1) 及び (2) (略)</p> <p>2 (略)</p>